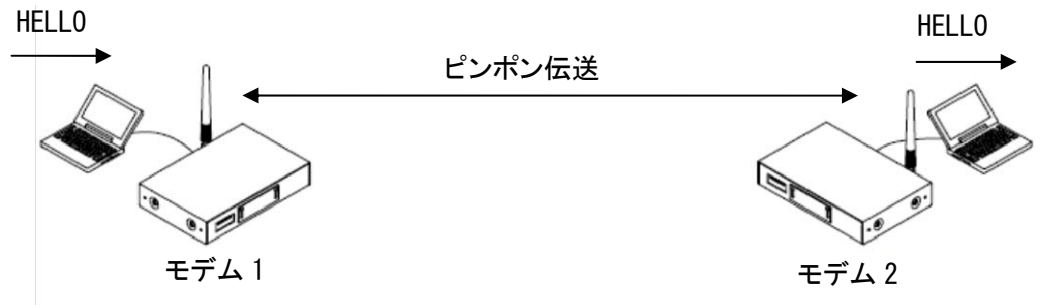


データ透過モード（通信モード1）**1. システム構成**

送信するデータをフリーフォーマットで入力して、送信します。
設定はスイッチのみで行い、1:1 通信のみ可能です。

**2. スイッチ設定**

ディップスイッチを全て OFF、ロータリースイッチは「0」にします。

3. 通信手順

2 台のモデムの電源を投入すると、無線の接続処理が自動で行われます。
接続が完了すると、LED の“C0”が緑点灯になり、通信が可能になります。

モデム 1 から、モデム 2 への通信

[モデム 1]> HELLO

[モデム 2]< HELLO

《注意事項》

- 送信データが有る／無しに関わらず、常に電波を出しています。(ピンポン伝送)
- LED はデータを入力していないときは、C0 のみ緑点灯で、それ以外は赤点灯になります。データ入力時は、送信側の SD が緑点灯、受信側は RD が緑点灯して、送信/受信が終わると C0 以外赤点灯に戻ります。
- LED の C0 が赤点灯のときは、通信できません。
- メモリレジスタのパラメータは、初期値で動作します。(ディップスイッチで設定可能なもの以外)
- ダイバシティ受信はできません。
- フロー制御はソフトフロー or ハードフローのいずれかを選択する必要があります。フロー制御なしは設定不可です。
- ID コード(REG04, 05)を設定していても、初期値 0 での動作になり、異なった ID 同士でも通信します。
- 周波数グループは 3 波モードで動作し、ロータリースイッチ 0~7 でグループ番号を設定します。
- シリアル伝送レート等は、ディップスイッチで変更可能です。
- コマンドヘッダは無効で、ブレイク信号によりコマンドを認識します。